

# 林檎

## 岩手Mac友の会

Vol.4, No.6 1992.12.19

Iwate Macintosh Funclub

### 東北 UGC&MMM

東北ユーザーグループ・コンファレンスと合同で行った、第4回!Meet the Mac in Morioka も盛会のうちに終了しました。参加できなかった皆さんも、前号の速報記事でおおよその雰囲気は掴んでいただけたものと思います。

遠来の参加者の皆さん、そしてスタッフの皆さん本当にありがとうございました。

何といっても圧巻だったのは、日本でユーザーの目に直接触れるのは、最初という Macintosh PowerBook Duo 230 でした。その薄さ、軽さ、性能の良さに加えて、さらに洗練されたデザインの良さで、手にした人の全てに「ほ、欲しい」と感じさせるものでした。発売が待たれますね。

### 応用技術研究会

もう一つの目玉は、初めての試みであった、ユーザーが自分で Macintosh を日頃どのように使っているかを発表する、応用技術研究会でした。今回は初めてのことでどうなることかと思いましたが、発表を聞いた皆さんの反応は大変素晴らしいということでした。中には「来年は是非、自分で発表

したい」という人も数人おりました。やはり雑誌などの表面的な情報よりも、身近な人達が、自分なりの使い方を発表するという、より実践的なものは聞いた人の大きな参考になるようです。このような発表の場はできるだけ多くしたいと思いますね。(発表の内容は次ページ以降に特集しています。)

### ヴォランティア

皆さんはヴォランティアという言葉から何を連想しますか？私が最近最も感銘を受けた「ボランティア もう一つの情報社会」(岩波新書：金子郁容著)では次のように書いてあります。「ボランティアというと「困っている人を助けてあげること」だと思っている人が多いのではないだろうか。ところが実際にボランティアに楽しさを見いだした人は、ほとんど「助けられているのはむしろ私のほうだ」という感想を持つ。」

献身、慈善、自己犠牲などといった旧来のイメージから脱却して新しい視点からヴォランティアという言葉を見直すと、互助互惠組織としての岩手Mac友の会の活動そのものがヴォランティアであり、「会員のために自分の時間を割いている」といった思い

がった考えを簡単に打ち消され、それどころか、むしろ自分にとってどんなにプラスになっているかを、思い知らされてしまいました。

IMFの活動に対する、新しい、そして素晴らしい考え方に目を向けさせてくれたこの本に感謝するとともに、今後のIMFの活動が「聞くことは答えること」「教えることは学ぶこと」という考えで、活発になることを期待します。とても良い本だと思いますので是非、ご一読を。



### Inside

MMM特集	2
山の花	5
漢字Talk7の話	6
なげんブラザー	8
建築とMac	9
Macで入れ歯	10
酒屋とMac	11
Macでプレゼン	12
英文コラム	13
林檎ギャラリー	14
編集後記	15
会員名簿	15
掲示板	16

# '92 MMM

続報

文・編集 徳富 亘

前号で、雰囲気緊急報告致しましたが、今回は色々思い出しながら、MMMの事を取り留めなく回想してみたいと思います。

まず、残念ながら出席出来なかった方々のために、会場の見取り図をお示しします。下の図と右の図は、会場設営に携わったスタッフ用に作ったものです。少し裏方の雰囲気も味わって頂けると幸いです。

自分がプリンセスの会場に到着した時、既に斉藤さんがいらして、電源配線工事をして下さったのには大変感激しました。

ついで来年も期待たくなります。(^^)

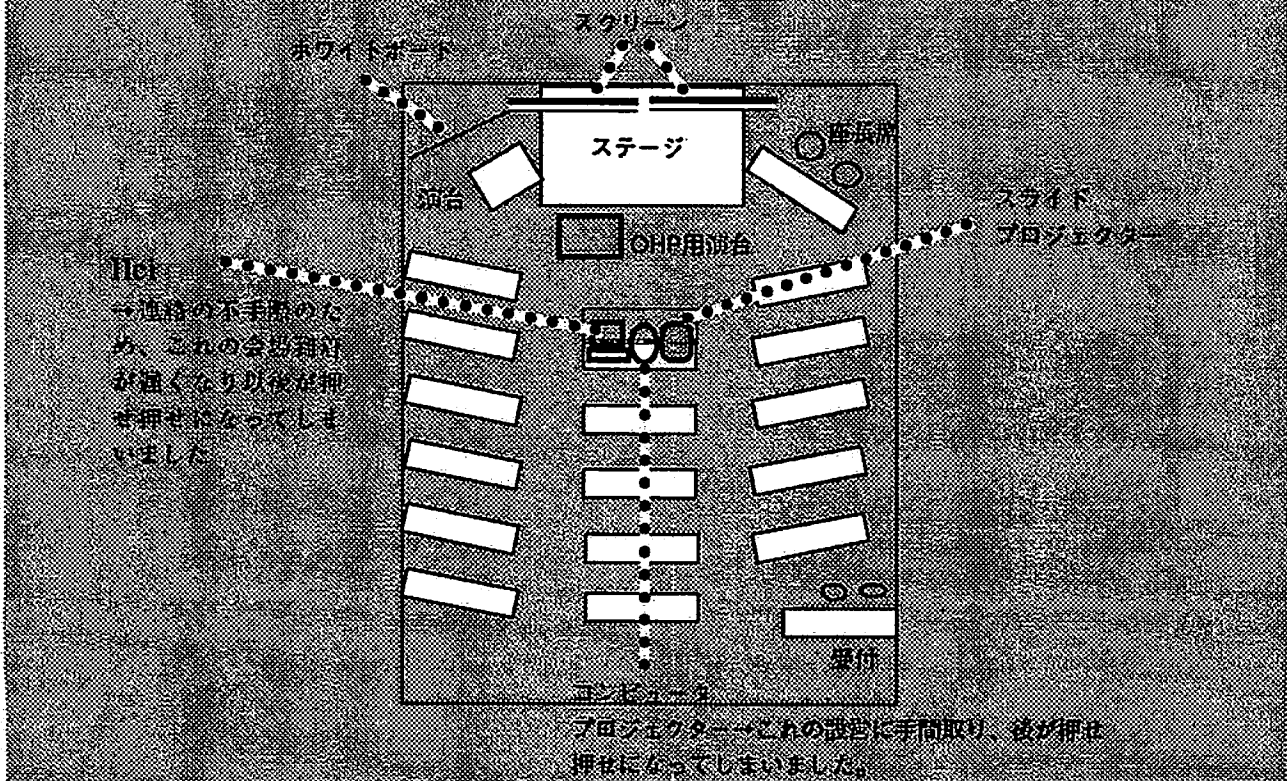
今回のテーマのひとつは、関係各所に必要経費として通用する形態を整えたいということでした。来年までの間に、皆さんの経験を踏まえて、この次ぎはこんな点に注意してこんなふうにしたほうが都合がいいんだが、ということがございましたら、どんなこと

でも、どうぞ御要望して下さいませようお願いいたします。

今回のMMMで自分が学んだのは、Macintoshや、周辺機器がどんどん進歩してくると、それらを繋ぎ合わせて所定の性能を発揮させるためには、かなりのノーハウと、試行錯誤の時間が必要なんだなあ、という事でした。

したがって、その場で作る「林檎」の特集ページは、誰かが日常使っている装置をそっくりそのまま持ってきて使うようにしないと、コンビネーションがうまく行かなくてセットアップに

## 安比グランドホテル、応用技術研究会会場見取り図



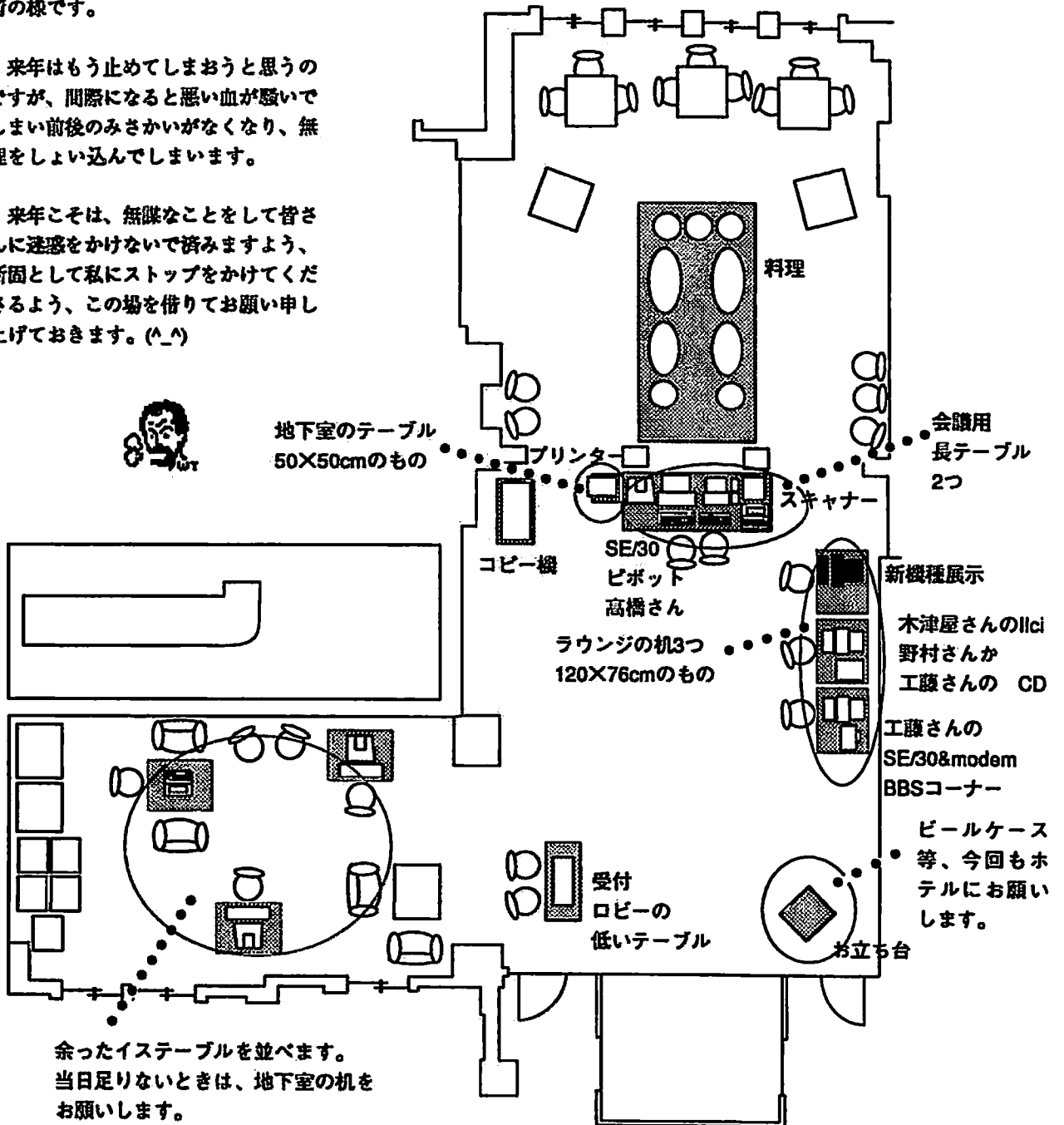
時間がかり過ぎてしまうことになる  
と言うことでした。

よく言えば、個性のある、悪く言え  
ば癖のあるマシンが多く、なかなか整  
合性がとれないのが、Macintoshの実  
情の様です。

来年はもう止めてしまおうと思うの  
ですが、実際になると悪い血が騒いで  
しまい前後のみさかいがなくなり、無  
理をしょい込んでしまいます。

来年こそは、無謀なことをして皆さ  
んに迷惑をかけないで済みますよう、  
断固として私にストップをかけてくだ  
さるよう、この場を借りてお願い申し  
上げておきます。(^^)

## ホテルプリンセス、MMM会場見取り図



MMM

# 私の感想

ありがとう  
ございました。



## Apple 青山

昨年に続き、今年も参加させて頂きました。

参加人員が増えないのが淋しいですが来年もまた宜しくお願いします！！

## T.Takeda / MACC

大変お世話になりました。

いつもながら活動的な貴クラブのムードには感心させられます。

UGC東北MMMはさる事ながら応用技術研究会の方も当クラブのこれからに参考となるイベントでした。

IMFの皆様、本当に御苦労さまでした。今後共MACCを宜しくお願い致します。

## MACC 成田

大がかりなセッティングご苦労様でした。こういう大きな集まりは初めてですので、ただただ圧倒されてしまいました。

みなさん、本当にMacが好きなんですわね。

## IMF 伊藤光司

てって一的につっこんだ話が出るMMMに参加できてうれしーです。

著名人(?)と、気軽に話が出るっつーのもいいですね。

## IMF 杉村修秀

大変楽しませて頂きました。役員の方の蔭の御苦労を見て感激しました。本当に御苦労さまでした。今回、始めて参加させて頂きましたが自分なりの理解度は2割程度といったところです。

何につけ、Duoが当分頭から離れそうにありません。デザインに於てプラス以来の感動を覚えました。

PS.記念品に(台焼きを)お使い頂き本当にありがとうございました。

## IMF 長土居

MMM+応用技術研究会スタッフになられた皆様、大変御苦労さまでした。お陰でとても快適な会でした。

今回初の応用技術研究会はカルチャーショックの様なものを感じました。

特に、菌の専門的な技術分野にMacを活用している徳富さん、又流れているデータをうまくとらえて生かし、学会発表されている佐藤先生の話は素人の自分にも良く判りとても興味を持つ事が出来ました。

## IMF 藤村 洋

Macの新製品の発表直後のMMMはタイムリーを開催でした。

Mac Duoの実物にタッチできて満足。みなさん、色々ありがとうございました。

## IMF 山本 淳

カゼ気味だけど、今年も参加できました。

## 匿名希望

おもしろかった  
料理が良かった  
新製品をもっと色々見たかった。

## IMF 野村行彦

MMMのほうでは、これまでどうしても中央が情報の発新地で、地方が入手するにはタイムラグがありましたが、日本のユーザとして最初にDuoに触れることができるという素晴らしい機会が与えられました。

また、今回初参加のApple OPS&TECの方々、JHUGの方々、遠路はるばるありがとうございました。Macの雑誌で御尊顔を拝見している方と直接お話しができるということだけで感激していた人も数多くいました。

中央との格差を日頃感じている地方UGにとって、このようなイベントに来ていただけるのは、本当に励みになります。今年の運営のまずさなどを反省し、来年も開催できるよう希望します。

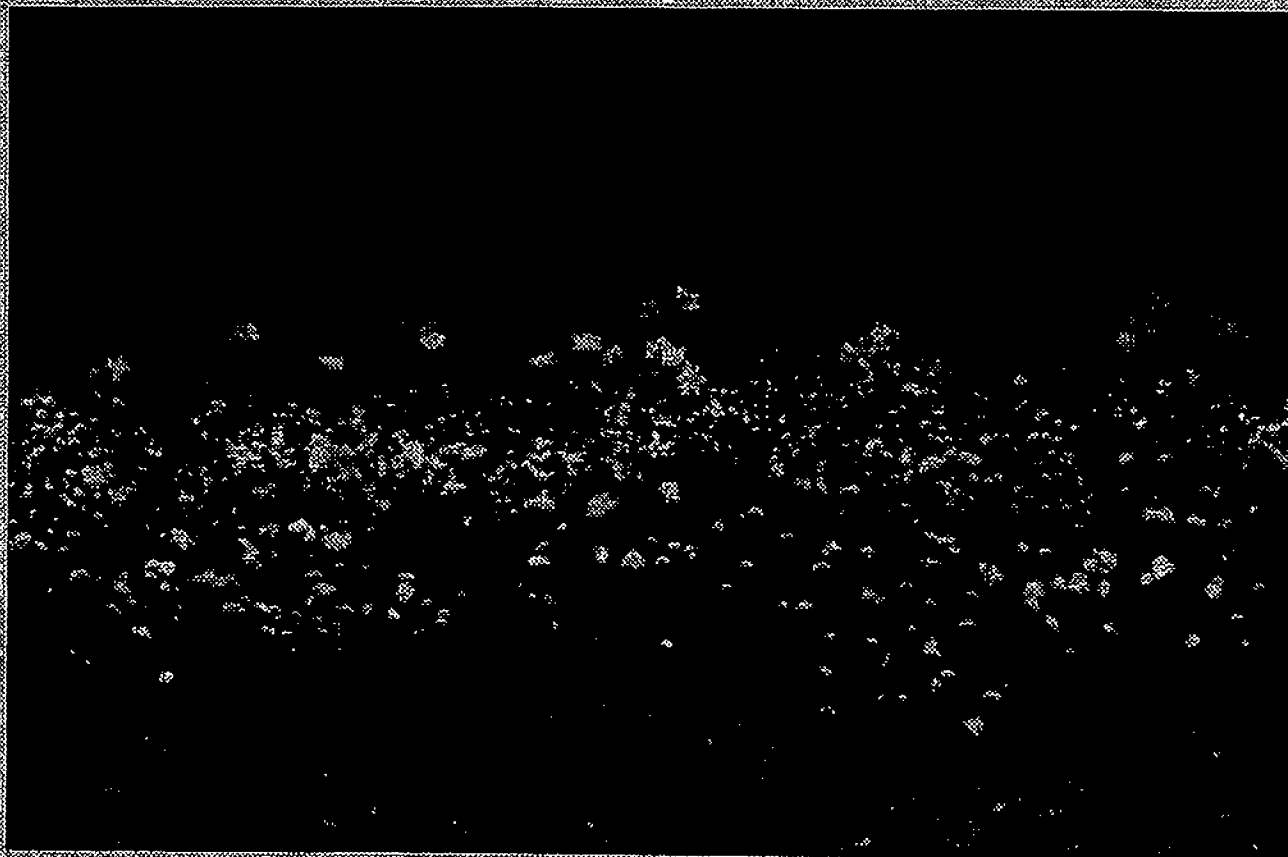


ワタスゲはその名の様に5~10cmの茎に真白な綿が付いている様に見えます。これが湿原に群生していると、清楚な美しさを感じさせます。以前から山野草の本で良く見ておりましたが、早池峰や秋田駒ヶ岳では出会うことは有りませんでした。高山植物はあまり無いだろうと思っていた八幡平の黒谷地でみかけました。今年是三ヶ割湿原や焼山など八幡平周辺に出かけることが多くなり、高山植物の種類も範囲も



拡がりました。これからも、まだまだ沢山の花に出会えそうで来年の春が楽しみです。

こな写真はソフトフォーカス・レンズを使っていますので意図的にぼかしたものです。ワタスゲの後ろに黄色いニッコウキスゲが有るのですが色付きでないのが残念です。でも想像するのも楽しくはありませんか。



ワタスゲ



# 漢字Talk 7 Release 7.1

正式名称「漢字Talk 7 Release 7.1」、通称「漢字Talk 7」、愛称「おにぎり」について  
宮武伸裕 Apple Operations and Technologies Japan, Inc.

## KT7 漢字Talk 7の概要

漢字Talk 7 (以下「KT7」) は System 7.1リファレンスシステムをベースとした新日本語システムである。System 7.1ベースシステムの特徴として、以下の事項がある。

- System Enabler
- Text Services Manager
- Input Methodメカニズム
- フォントフォルダ

- WorldScript 1&II
- 各種言語用スクリプト
- 各種言語用フォント
- 日付 & 時刻



- 数の書式 コントロールパネル (スクリプト毎の書式およびユーザによるカスタマイズ)

また、KT7特有の機能として、以下の事項がある。

- 日本語TTフォント
- 旧FEP・丸漢サポート
- 日本語Input Methodことえり
- TSM対応 Finder/TeachText
- HyperCard 2.1 Lite (日本語版)
- 各種ローカライズ

## KT7 各特徴の詳細

### □System Enabler

System Enablerはベースシステムを新しいCPUに適合させるためのメカニズムである。新機種発表ごとに行っていたシステムのマイナーバージョンアップに変わるものである。既に、Macintosh IIvi/vx, PowerBook Duo 210/230, PowerBook 160/180はそれぞれ異なるSystem Enablerを持つ。

### □WorldScript II

今までの漢字Talkの一部を機能拡張し、WorldScript IIになって2バイト圏言語をサポートした。



漢字Talkでは全てパッチでSystemを変更していたが、WorldScript IIはSystemと連携して各スクリプト毎にスクリプトを参照しながら処理を進める。Traditional Chinese, Simplified Chinese, Korean, Japaneseをサポートしている。

スクリプトファイルをFinderでシステムフォルダにドロップインすることでスクリプトの組み込みが完了する。

## KT7 日本語フォント

### □PostScriptフォント

旧来のPostScriptフォントを修正した以下のフォントがバンドルされる。

細明朝  
中ゴシック

### □漢字TrueTypeフォント

JIS X0208(90年版)とX0212の記号類(エンコーディングは独自)を含むフォント。以下の書体をバンドルする。

- Osaka/Osaka一等幅
- リューミンライト-KL (※)
- リューミンライト-KL一等幅 (※)
- 中ゴシックBBB (※)
- 中ゴシックBBB一等幅 (※)
- 本明朝-M/丸ゴシック-M
- 平成明朝
- 平成角ゴシック

(※)はフォント機能拡張でサポートされる



### □フォントフォルダ

System 7 Release 7.1からサポートされた。従来はSystemに直接フォントを組み込んでいたが、今はSystemファイル内のフォントはフォントフォルダに全て移される。このフォルダには以下のフォントを格納できる。



TTフォント

Type1フォント

独自フォント (バンド付フォント書類: TTフォントだが、フォント機能拡張により扱われる。フォーマットは非公開)



## KT7 旧FEP・丸漢サポート

丸漢フォント (fdef/fbit) を使用できる。旧来のフォントも使用可能だが、動作しないものもある。対応は各メーカーにどうぞ。また、漢字Talk 6.xで使用していた日本語FEPも使用できる。これもFEPにより動かないものもあるが、対応は各メーカーにどうぞ。

## KT7 Text Services Manager

Text Serviceのための新しい機構である。TSMはComponent ManagerとApple Events Managerを利用している。また、Text Servicesは一つのComponentとして実装され、Input Methodは一つのText Serviceとして動作する。システム標準のフローティングウインドウをサポートするが、System 7.1ではInput Methodのみをサポートする。(注1)

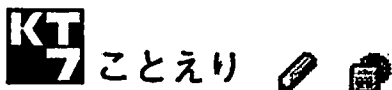
## □Input Methodサポート機構

Toolbox TrapにApple標準のInput Method API(Application Program Interface)を用意した。これは次のような事項をサポートする。

- 複数Script・複数Input Method/System 旧FEPの共存 (ただし、旧FEP・丸漢サポート使用時のみ)
- 複数セッション/ Input Method
- Input Methodメニュー (鉛筆メニュー)
- FEP型 (ウインドウ入力=TSM非対応アプリケーション) およびBEP型 (インライン入力=TSM対応アプリケーション) の2形態 (注: TSM対応アプリケーションもFEP型になりえる)

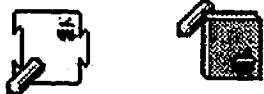
## □インライン追加機能

Text Edit Manager使用時の簡易インライン入力機構をサポートする。これはダイアログ内での簡易インライン入力機構をサポートし、Finder/Teach-Text/辞書ツールなどで用いられている。

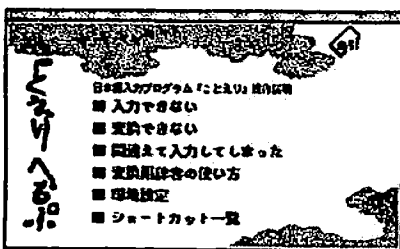


## □基本機能

ことえりは2.x変換に代わる全く新しいかな漢字変換エンジンであり、前述のTSMに対し完全コンパチブルである。



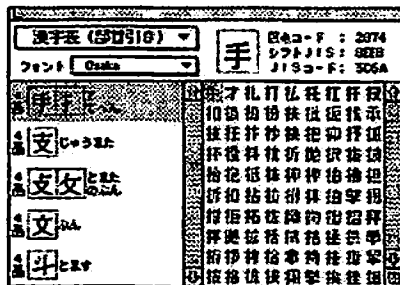
複数の基本/専門/ユーザ辞書を同時に動的にオープン可能であり、基本辞書には5万語が登録されている。また、平易なヘルプシステムを搭載しており、マニュアルレスでの使用が可能である。



## □文字パレット

部首引き、記号表、コード表 (ソフトJIS, JIS, 区点) での漢字の検索が可能であり、表示フォントを変更することも可能である。

文字パレット上の使いたい文字をダブルクリックするとドキュメントに入力することができる。



## □操作パレット/メニュー

よく使われる機能を配置し、容易に実行したい機能にアクセスできる。また、現在の入力モードをパレットで表示するため、確実な操作ができる。



▲ 公演中の宮武氏

## □辞書ツールによるユーザ辞書メンテナンス

理解しやすいユーザインタフェースを用意した。既存の辞書を無駄にしないために、ユーザ辞書のテキストファイル入出力機能、2.1変換のユーザ辞書からことえりのユーザ辞書へのコンバート機能を持つ。

また、辞書ツールは、辞書の再編成、最小化、複数辞書の統合、重複語のチェック (基本/専門/ユーザ辞書) を行うことができ、複数ユーザ辞書を同時オープンすることが可能である。複数ユーザ辞書を開いたときは、ユーザ辞書間での語のカット/コピー/ペーストも可能である。

## KT7 漢字Talk 7コンパチブルソフト

KT7コンパチブルソフトウェアとして次のものがある。

- HyperCard 2.1 Lite (日本語/KT7同梱)
- QuickTime 1.5 (日本語/KT7同梱)
- CD-ROM Setup 4.0.2 (日本語/KT7同梱)
- AppleShare 3.0.1 (日本語)
- FileServer, PrintServer
- MacTCP 1.1.1
- AppleTalk Remote Access 1.0 (日本語)

## KT7 TSM aware APPL と Input Method

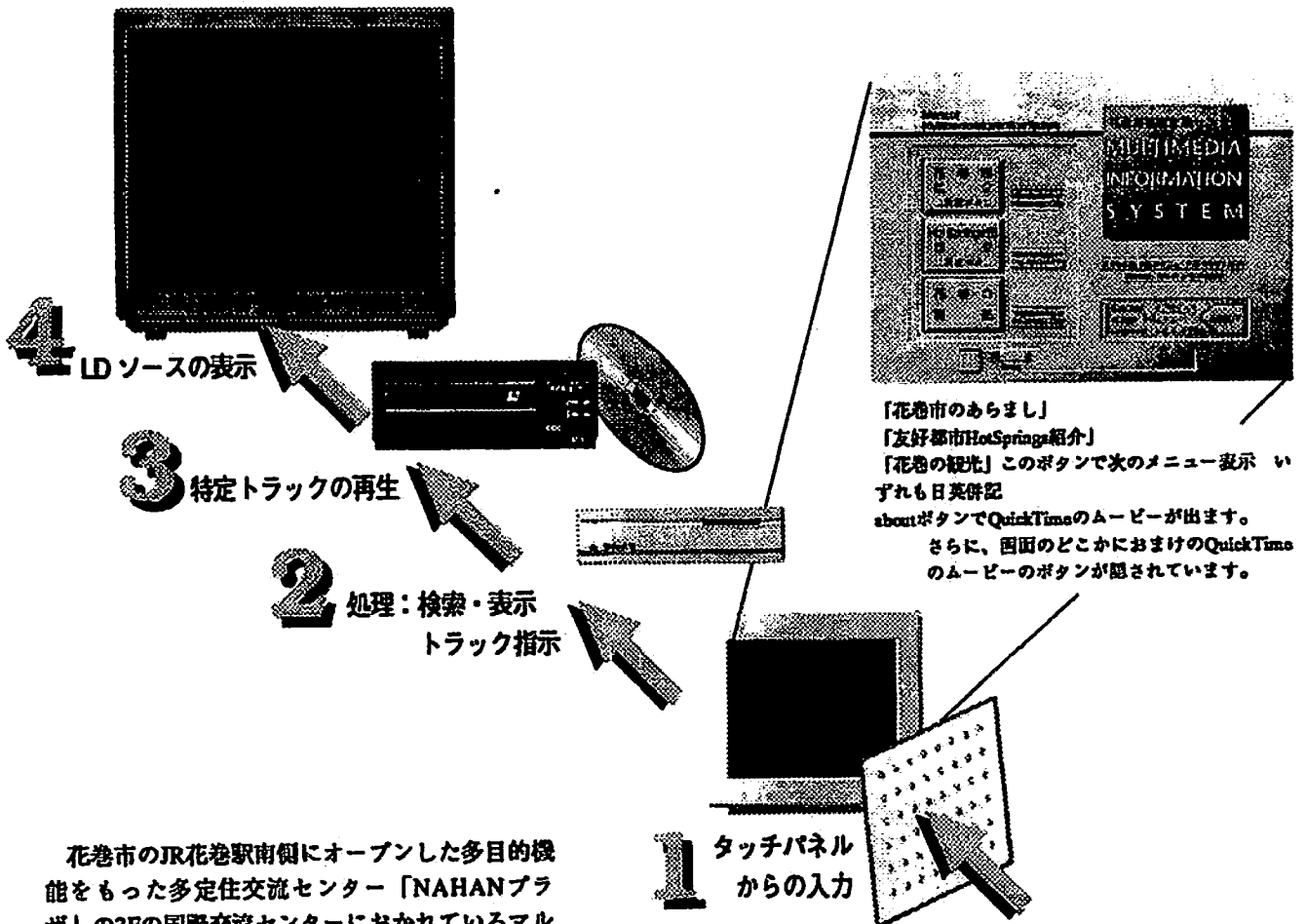
標準APIを使用することで、どのようなTSM Input Methodも使用可能である。

- YooEidit 0.96(Free Software): 初の非TextEdit TSM aware アプリケーション
- MacVIE-γ/MacWORD
- Katana7/WaltzWord
- SoloWriter TSM対応版
- TabEdit 1.2.4(Free Software): 2つ目の? 非TextEdit TSM aware アプリケーション (野村会長作)

Editet by S.Kudoh



発表者 佐々木明宏(fabrique)



花巻市のJR花巻駅南側にオープンした多目的機能をもった多定住交流センター「NAHANプラザ」の3Fの国際交流センターにおかれているマルチメディアタウンガイドに関する仕事に携わりました。

このガイドシステムは、利用者がMacの画面を操作パネルのように指でボタンに触れるだけで目的のガイド映像が大きなモニターに映しだされるようになっています。

システムの構成はハード的には上の図の通りですが、ソフト的にはHyperCard2.0をベースとして画面のデザインをIllustratorとPhotoshopで行ない、カラー表示をColorizingHCというXCMDで、その他にMacroMindDirectorのアニメーションを起動するXCMDやQuickTimeの表示を制御する各種のXCMDを使用しています。

外部の機器の制御やQuickTimeのムービーを呼び出すという点においては、MacroMindDirector3.0(開発当時)でも同様が可能でしたが、HyperCardのスクリプトのほうがすっきりして反応が早かった(とはお世辞にも言えませんが)のでHyperCardをベースにしました。

ボタンに触れたときのリアクションやレーザーディスクを検索に行く間のタイムラグをもたせるためのインジケータをアニメーションでわかりやすく表示し、画面全体のデザインも利用する方が感覚的に操作できるように最大限注意を払い制作しました。どうぞお近くへお寄りの際はお楽しみになって下さい。なお、aboutボタンには開発者一同のプロフィールがQuickTimeで取められています。



演題「建築設計とMacintosh」  
～ビジュアルプレゼンテーション～

高橋 見

I. はじめに

建築の設計プロセスにおける、Macintoshの活用例を紹介させていただきます。  
一般的には、建築分野の利用としては「CAD」がいろいろなメディアで紹介され、実務的な製図板に代る道具として広く普及してきておりますが、私が勤務する(株)中居敬一都市建築設計では少し違った方法でMacintoshを利用しています。  
手法や利用するソフトは特殊なものは少なく、一般のMacintoshのユーザが普段使っているソフトを使っていますので、この分野以外の方にも少しでも参考になればと思い、発表させていただきますことになりました。

II. ビジュアルプレゼンテーション

(事例1) イメージ合成

- 盛岡白百合学園100周年記念講堂
- 計画案 ANビル

(事例2) 3Dグラフィックス(静止画)

- 盛岡白百合学園100周年記念講堂
- 新盛岡競馬場建基本設計
- 麵BOX

(事例3) 3Dグラフィックス(アニメーション)

- 盛岡白百合学園100周年記念講堂
- 新盛岡競馬場建基本設計

III. デザインプロセスでの応用

1. 発想・基本イメージ
2. 基本イメージの展開
3. イメージの実際的な展開
4. イメージと空間のチェック
5. 基本フォルムの決定
6. 空間の基本イメージ、機能の決定
7. 空間の完成
8. 全体環境とのシュミレーション
9. 完成空間のシュミレーション

IV. さいごに

準備不足や不慣れな発表のため、説明が不十分とは思いますが、建築設計の分野でのMacintoshの利用の一端を紹介できたのではないかと思います。  
このような有意義な発表の場を与えていただいた「IMF(岩手マック友の会)」の皆さんに感謝するとともに、この素晴らしい環境を私たちユーザに提供していただいている、アップルコンピュータに感謝したいと思います。

「普段Macでやっていることを簡単に発表しませんか」というお誘いを受けて、慣れない発表をしてしまいました。実に刺激的なひとときを過ごすことができました。

発表の内容といえば、職業を同じにしている方が見れば、一笑に付される内容で赤面するばかりでしたが、たくさんの方の前で、簡潔に言いたいことを伝えるという行為は、なかなかシンドイものがありました。

これを機会に、(Macで)普段やっている仕事の内容を、出来るだけ整理して記録して置きたいと感じました。

来年こそは、「刺激的な」一時をすごしてみませんか？  
IMFのみなさん！

追記

発表の内容とは別に、最近設計した個人住宅のプレゼンテーションの絵を、発表します。(FormZでモデリングしてPhotoshopでレタッチを施しました)



文、絵、編集 Kou TAKAHASHI

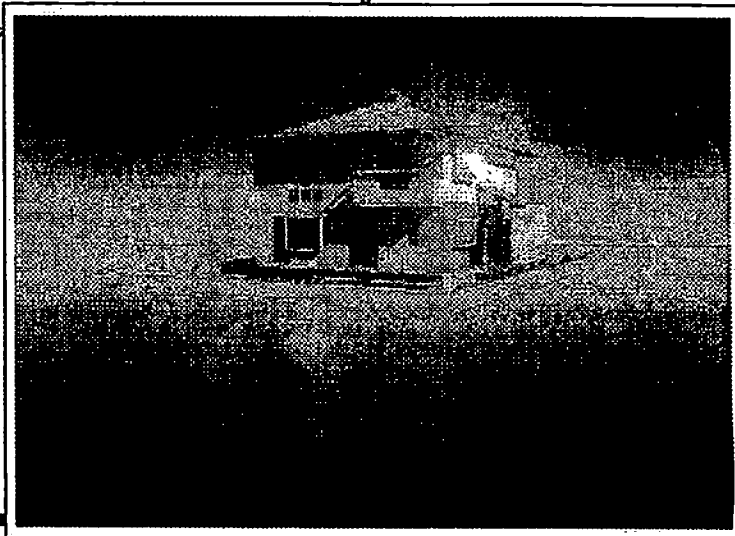
資料

【使用したハード】

Macintosh SE/30(8M/100MHD+Radius Five)  
Macintosh II(8M/40MHD+13"ColorMonitor+40M Ramo-  
abin)  
Quadra 700(20M/40MHD+17"ColorMonitor+3.57M)  
OKI MICROLINE501FS  
LaserWriter II SC  
EPSON GT-4000  
CANON FR-510 など

【使用したソフト(一部)】

Dynacore  
Modelshop  
Spencer3D  
FormZ  
Adobe Photoshop など



## リーゲルテレスコープデンチャー作製におけるMacintoshの応用

○徳富 巨

徳富歯科医院 (岩手県花巻市)

リーゲルテレスコープの作製に当たっては、最初にリーゲルを作製しなければならない。リーゲルは、通常、一旦歯冠全体の外形をワックスアップしてそれに丁度良い大きさや位置などを決定していく。しかし、その操作から得られるのはあくまでも、雰囲気とか目安とかいう類のものであり、具体性に乏しい情報である。したがって、最終的には経験と勘に頼らざるを得ないが、珍しい症例ではリーゲルの設計を誤ったために最終段階に進んでから全部作り直しになることすらある。

そこで、余り経験に左右されずに適切なリーゲルを作製するために、Macintosh上で走るIllustratorというソフトを応用してリーゲルの大きさ、動きや旋回中心などをシミュレーションすることを考案した。さらにそうして決定したリーゲルの実物大の型紙をプリントアウトし、それをもとにしてリーゲルを作製したり、旋回中心位置を石膏模型に転写することにより、かなり複雑な設計のリーゲルテレスコープデンチャーでも安心して円滑に作製できるようになった。

### はじめに

リーゲルテレスコープデンチャーには、旋回リーゲルと回転リーゲルの二つがあるが、通常よく用いられ、また応用範囲が広く、また、丈夫で、長持ちするのは、前者である。今回、ここで紹介するのも、前者である。

現在一般的に行われている仮ワックスアップによる方法は、一旦ワックスアップしてから、それを削り込んで、内冠の状態を再現するわけだが、その時、内冠の厚みなどの確認が大変やりにくい。また、それによってシュミレート出来るのは、内冠の状態までであり、肝心のリーゲル部分は、何ひとつシュミレート出来ず、たとえば、旋回中心の位置や、リーゲルの幅や、形などについては全くと行っていいほど情報が得られない。そこで、出来るだけ具体性を持った情報を得るためにグラフィック機能に優れたMacintoshの応用を考案した。

当初は、3次元的な、シュミレーションを検討したのだが、自由曲線を描きつつ、

それを3次元に展開して同時に動かせるようなCAD/CAMソフトはまだ開発されていない。そこで、実際の作製ステップを再検討したところ、パラレロメーター上で、リーゲルテレスコープデンチャーの着脱方向を決定し、それに合わせて、リーゲルの設定面を決めてしまえば、リーゲルの設計に必要なシュミレーションは、2次元的なものになることに着目し、Macintoshで一般的に広く用いられているIllustratorというイラスト用のソフトを応用してみたところ、大変効率良くリーゲルの作製が出来るようになった。

今回は、ひとつのリーゲルで、その旋回中心の前後に二つのロックを持たせたものを例にしてその製作におけるMacintoshの応用法を簡略に紹介させていただいた。

### 模型ならびに、咬合器の準備

- 1) 作業模型は、二つ用意する。ひとつは、支台を分割して、内冠を作るために使い、もうひとつは、分割は一切しないで、外冠を作るのに使う。大部分の症例では、模型を二つ用意し、それらを正確に咬合器に付着することによって、内冠を口腔内に戻して咬合採得する必要がなくなる。
- 2) 分割模型をパラレロメーターにセットして、歯冠の着脱方向を決めリーゲルの設定面を決め、模型に設定ラインを鉛筆で記入する。
- 3) 支台に模型をセットしたままで、真上から、プリント用フィルムで写真を取り、出来た写真をスキャンして、Macintoshに取り込む。これは、立体スキャナや、ビデオカメラ入力、あるいは、スライドスキャナ等、他のどんな方法を用いても構わない。
- 4) 取り込んだ画像をPICTファイルにして保存し、ビットマップをハンドルできるソフトを使って、余分な影や、余分な線を整理しておく、後の作業がやりやすくなる。
- 5) Illustratorで、新規ファイルを作るが、その時に、4)で加工したPICTファイルを原図として読み込む。
- 6) 原図を参考にして、リーゲルを描き、それをCRT上で動かすことによって、シュミレーションを行いつつリーゲルを設計していく。
- 7) 設計が終了したら、大きさを実物大に縮小してから、プリントアウトして、型紙にする。その際、リーゲル部分を複製してからプリントすると、一枚のプ

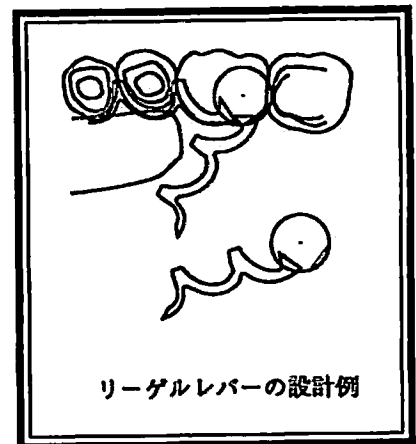
リントで、リーゲルの型紙と、旋回中心の位置を石膏模型に再現するための型紙を作ることが出来る。

- 8) リーゲルの型紙は、プラスチックの板に貼り付けて、切り抜く。旋回中心の位置は、型紙の支台の部分切り抜いてから、石膏模型に被せ、旋回中心部分に、真上から、ピンなどを差し込むことによって石膏模型に転写する。(学会発表時は、サーベイ用の鉛筆を、パラレロメーター上で差し込んで、位置決定している写真を用意したほうがよい)
- 9) こうして、リーゲルを作製した後は、全て通常の手順で、作製していけばうまく行くので、以下の手順は省略する。

### 結果ならびに考察

以上、リーゲルテレスコープの設計に、Macintoshを応用することにより、シンプルなものも勿論、かなり複雑なものでも、充分なシュミレーションをすることが出来るようになり、その結果、作り直しの不安なく、安心して義歯作製が出来るようになった。実際に必要な機材は、安価なハンディスクャナート、安価なプリンターと、入門レベルのMacintoshとIllustratorなどのイラスト用のソフトがあればよく、それ以上特別な機材や、技術を必要としないのも本法の特長である。

今後の課題としては、この方法によって、正確さが向上したばかりでなく、作業効率も向上しているのでは、従来法に比べて、どのくらい効率改善がはかられているか、詳しく比較検討していきたいと思っている。



リーゲルレバーの設計例

今回のMMMでの発表は突然にやってきました。依頼を受けて以来、あわてて背景や目的などをとりまとめ何とかレジメを作りましたが、その後さっぱり本文が進まず、発表をスライドと実際のファイルメーカーで誤魔化そうとしました。

当日、スライドはスライド用のフィルムを使わず普通のフィルムを使ったため真っ暗で役に立たないし、持ち時間の関係でファイルメーカーは使う暇がありませんでした。おかげでボロが広がらずにすみましたが…。

さて発表の内容ですが、もともと酒屋には付き物の酒類報告を、Macでやって見ようと思い立ったのが最初です。

月末になると、在庫調査を行ない、手作業で100種類を超える酒類の伝票の整理と台帳への記帳、さらに集計を5日もかけて酒類報告書を作成し税務署に報告しています。

せっかくMacを持っていて使わない手はないと思い、早速ファイルメーカーIIでデータ入力と集計に挑戦。

しかし、ファイルメーカーIIでは、縦の集計は出来るが横計が難しい等の理由から、丁度バージョンアップの案内が来たファイルメーカーProなら出来るかと期待しましたが、やはりバージョンアップしても基本的には何も変わりませんでした。

次に挑戦したのは、Excelでの集計表作成でした。月末在庫調査から報告書の作成は現在のところExcelで行なっています。しかし、酒類別の集計値と月末在庫データとの計算が難しい為、ならばと始めた4Dも途中まで使い方をあれやこれやといじって、忙しさのせいにしてそのままの状態です。

### 動機

- ・酒屋の経営近代化が遅れている  
(手作業が多い、おぼざっぱ)
- ・タイムリーなデータ不足
- ・正確な統計や経営計画の必要
- ・Macを使って  
チラシを作ってみたい

### 目標

- ・酒類台帳のDB化
- ・仕入、在庫、販売管理の一元化
- ・卸業者とのオンライン発注



### 経緯

- ・SE/30を事務室にもちこんで  
データ入力
- ・SE/30でも場所をとり手狭になる
- ・PB100購入
- ・ImageWriterからStyleWriterへ  
(小松氏協力)

### 事例

- ・チラシ作成  
StyleWriterで出力するようになってから近くの印刷屋さんから奇麗な印字、変化のある書体、自由なレイアウトに感心された。カットはハイパーカードのアート集から拝借。

### 外販管理

配達伝票の入力と月別、顧客別集計

### 顧客管理

DM等に利用する目的で作成、配達情報にも使いたいのが外販管理とのリンクで良い方法が見つからない。

### 仕入管理

業者別仕入額集計のみになっていて品目単位の管理にしたいが…。

### 酒類報告作成

月末在庫調査から報告書の作成は現在のところExcelで行なっている。

### 統計情報

売上前年比、前年同月比など

### 課題

酒類だけではなく全商品の一元管理  
POSとの連携  
もっと売上を!

### 私の理想

POSレジ+Mac+卸業者オンラインシステム

これらによる単品管理から仕入れ管理、種々の統計資料作成、経営分析を一貫してできるハンディなパーマトップMacで、店内の商品を見ながら商品コードをチェックする。

卸業者の在庫データのウインドを開き、過去の売り上げデータや全国販売状況のウインドと比べながら発注する。当然、Macはオンラインで業者システムと繋がっている。

定量のボタンをチェックすると、前回の在庫の補充分を発注する。ついでに、新製品情報も取り出せる。過去、数ヶ月の売れ筋情報も拾える。

### 現実

POSレジ+オフコンまたはDOSマシン

単品管理と報告書作成、若干の統計資料作成一々、商品の数量を判断し過去のデータを判断し、売れ筋をあとから調べる。発注した後、業者の在庫と突き合わされる。MacでのPOSレジ対応が無いのが残念。

文章  編集 

# 耳鼻科でのMacintoshの応用とDTPRの実践

佐藤 護人

DTPR(desk top presentation)はMacでは極めて容易に準備することが出来るので、Macの使用目的として最近注目されている分野です。Presentationとは発表のことであり、日常どの仕事場でも自分の考えを提示したり、成果の報告を上司、同僚、得意先にしていることと思います。研究機関では学会がたびたび開かれ、プレゼンテーションは研究の成果を報告し、多くの人の批判を仰いで研究を更に発展させる為の大切な仕事です。

私は医学部を卒業後、耳鼻咽喉科に入局して三ヶ月目には小さな学会で発表命ぜられました。年2~3回以上の学会発表は医局員の責任であり義務でした。発表をするためには、まず見やすく、解りやすいスライドを作らなければなりません。最初はグラフ用紙に

1. 耳鼻咽喉科領域における急性感染症の細菌検査成績 平成2年1月20日 第57回日耳鼻岩手地方部会
2. 今年のスギ花粉飛散状況について 平成2年4月15日 第58回日耳鼻岩手地方部会
3. 児童、生徒のアレルギー性鼻炎 平成2年10月 盛岡市養護教諭研修会
4. スギ花粉飛散と患者来院状況 平成2年7月13日 第十回東北アレルギー研究会 於：福島
5. 今年のスギ花粉飛散状況について 平成3年4月20日 第63回日耳鼻岩手地方部会
6. アレルギー性鼻炎におけるスクラッチテスト-3000例の結果から- 平成3年7月13日 第11回東北アレルギー研究会 於：山形
7. 小児のアレルギー性鼻炎 平成4年1月19日 第9回岩手県学校保健・学校医大会
8. アレルギー性鼻炎におけるスクラッチテスト 平成4年4月25日 第23回岩手アレルギー懇話会

図1 発表の種類と月日

マジックペンで書き、写真屋さんでスライドにしてもらいました。次に製図用のロットリングのセットを使いましたが、所詮手書きなので見易いとは言えませんでした。その後は写植を依頼するようになりました。一枚5000円位で5~6枚も頼みますとかなりの出費で、しかも発表の二週間前にはスライド原稿を完成してはなりません。発表の直前まで訂正が簡単に出来れば良いのにといつも思っていました。

発表に追われる大学の生活から離れて開業し、数年たってみるとデータがたまり、せっかくだからと発表の機会を窺うようになりました。そんな時、雑誌の最新情報にDTPR用の"Cricket Present"が紹介してあるのを見つけ、早速Mac IIと共に購入しました。このアプリケーションはEXCEL等で作ったグラフを簡単に持ってくる事が出来、しかも色付きですから表現の幅が広がり、これでこそ解りやすいスライドを作ることが出来ます。カラーのスライドが出た時の若い医師からの素直な驚きのどよめきが今でも耳に残っています。これで発表の意欲が出て平成2年から学会などで8回ほど発表しました(図1)。

データの整理からグラフ作成まで殆どはEXCELを使用しております。例として、アレルギー性鼻炎の患者さんのアンケートと検査の結果は50項目になり、3000人以上のデータを入れてお

ります。これをデータベースとして「=DCOUNT(データベース,,検索条件)」とすると全例の中で条件に合う例数を直ちに表示してくれます。またスギ花粉の毎年の飛散状況を比較するために3Dのグラフがとても有用で、一見して理解できる見事なグラフが出来上がります(図2)。

プレゼンテーションの要点は今年のMac world expoでのアスキーの展示で良く説明されておりますので、これを引用します(図3)。

### DTPRのまとめ

1. 発表の目的の明確化
2. ストーリーを作る
3. 少なめの情報量・色使い  
文字は大きめ・行数は少なめに
4. リハーサルを行う

図3 DTPR(アスキーの展示から)

発表はただ漫然と表やグラフを並べて、言いたいことを話すのではなく、内容を聴衆に「解かってもらう」ように努力しなければなりません。その為には目的を明確に、順序だてて発表すること。スライド等は一見して解かるように、図3の3.の工夫が必要です。リハーサルは是非行うべきです。それによって思いがけない発見があり、素晴らしいプレゼンテーションが出来あがります。

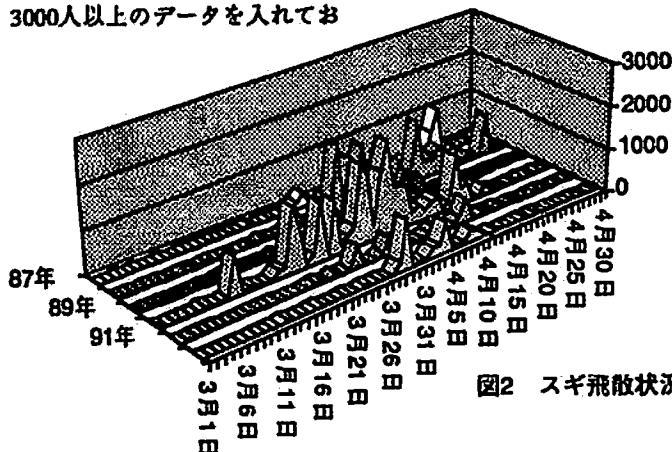


図2 スギ飛散状況

# How do you spell "Relief"?

生英語コーナー

Can you read my English? I'm writing in natural English this time. It's my pleasure to be able to participate with the Mac User Group here in Morioka and contribute to the English page.

I came to Japan with my American wife two years ago through Mombusho's JET Program. I taught a little English and learned a lot of Japanese at 金ヶ崎中学校 for two years. In August of this year I started working at the Kencho. I'm now in the International Relations Division (県国際交流課) helping mainly with Japanese-English translation (翻訳).

Although I'm a foreigner, I don't have AIDs. And you can't catch AIDs through E-mail as far as I know. I didn't even bring viruses when I came from the States, as I use a lot of protection on my Mac.

Before I came to Japan I was a copywriter and project manager in marketing communications (advertising) for Jasmine Technologies in San Francisco, which was a leading manufacturer of hard disks for the Mac. Then I worked for *MacUser* magazine, the magazine with the 5-mouse ratings. At *MacUser* I assisted in the set up of Ziff-Mac, a worldwide network for the Mac on CompuServe. Unfortunately I don't have easy access to CompuServe from Morioka.

Have you ever heard of *MacWEEK* magazine? It's perhaps the most important magazine for

and numerous other computer magazines. Ziff-Mac is a network service for Mac users run by this

---

## "K..a..n..漢字 System 7.1"

---

Mac in the States. *MacUser* and *MacWEEK* magazines have the same publishing company which is Ziff-Davis. Ziff-Davis publishes *MacUser*, *MacWEEK*, *PC Magazine*

very important computer publishing company.

My specialty on the Mac is in using graphic design, typography, and DTP software for creating advertising and marketing materials. But I also know a lot about utilities and Mac equipment. I'm looking forward to talking to you all.

### Changing Icons

In System 7.1 you can change icons. First select a file, then select Get Info (情報を見る from the ファイル menu). Then do the same with a file with another icon. Click on the icon you like in the Get Info window. Then copy it with Command C. Then click on the icon in the other Get Info window and use the Paste command.

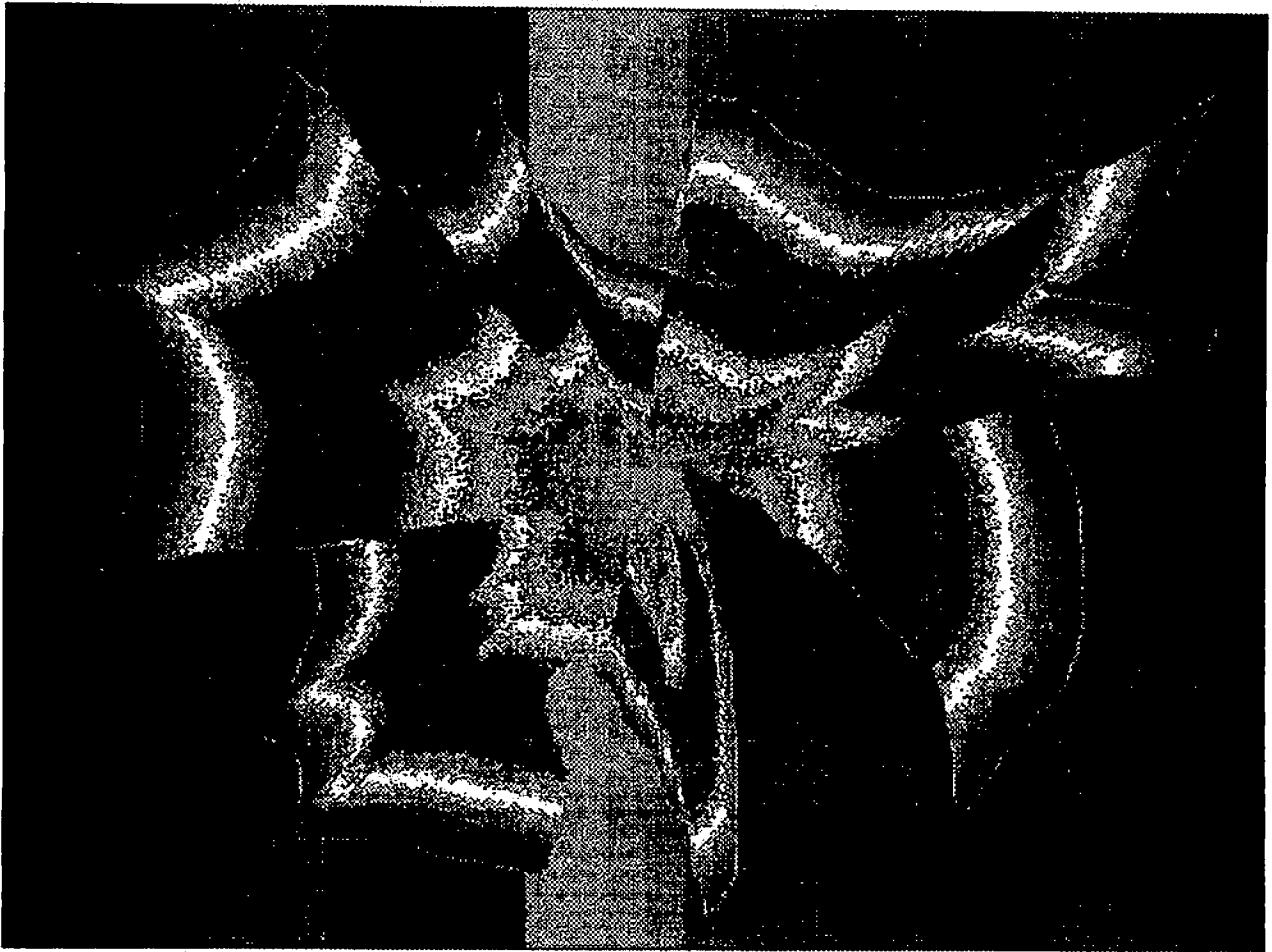
自己紹介



Roger and wife Janet at Geto Onsen

---

# 林檎ギャラリー



by瀬川昌男

# 編集後記



そろそろ息が切れてきました。近々編集長の特権を濫用して「林檎」のページを今の16ページから12ページに減らすことを真剣に考えています。

徳富



締め切り2日前のピンチヒッターで、しかも、久々で、編集作業をドタバタとやりました。それでも間に合ったのはパソコン通信のおかげです。(原稿がメールで到着、林檎のマスターページのありかを掲示板で確認、そしてダウンロードし編集)ひとえに関係者に感謝です。

藤村洋



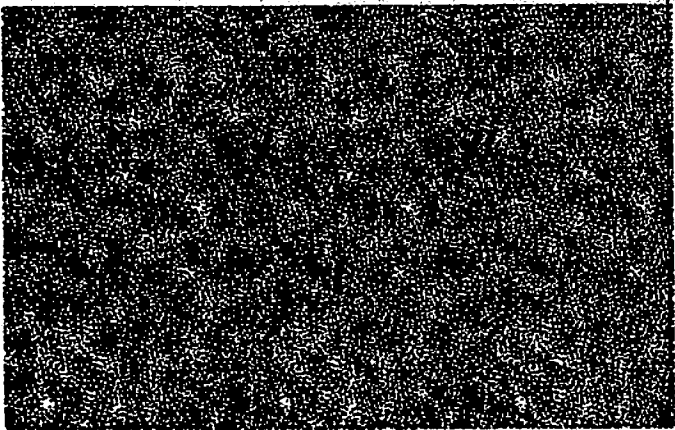
12月は宴会と出張の嵐です。当然の傾向として原稿はなおざりになってしまいます。やっつけ仕事が目立たないことを祈りつつ...

野村行憲

不安定なKT7上での編集はリスタート数十回を数えました(こんなに不安定なのは私のMacだけのようです)。でもKT7は手放せません。

工藤

今話題のマジックアイに挑戦してみました。あなたにも立体が見えますか? 徳富



# 会員名簿

山真紀子	盛岡市	高橋和良	盛岡市
山田昌裕	北上市	高橋浩幸	盛岡市
浅野保津一	仙台市	高橋真知子	盛岡市
安池元学	盛岡市	高武伸次	盛岡市
石田田安	盛岡市	高武元忠	盛岡市
伊藤光司	花巻市	高武田和	盛岡市
井上監督	盛岡市	高田村真智子	盛岡市
遠藤幹也	盛岡市	高田千葉雅之	盛岡市
大河原清	盛岡市	高野野弘明	盛岡市
大塚英幸	盛岡市	高野野万里子	盛岡市
小野野世利子	二戸市	高妻寺井芳明	弘前市
		高井山明夫人	花巻市
	宮城県本吉郡本吉町	高徳富巨恰	盛岡市
小野寺雄大	陸前高田市	高吉米地	盛岡市
加藤谷明	花巻市	高根根	盛岡市
桂川茂彦	盛岡市	中居居	盛岡市
金浜益己	二戸市	中永澤	盛岡市
兼平信一	盛岡市	中長土居	盛岡市
鎌田五百枝	盛岡市	中西村光	盛岡市
特達宏	盛岡市	西根本村行	盛岡市
上山研一	宮古市	根野深田	盛岡市
木村栄子	盛岡市	根野深田	盛岡市
木工隆聡	滝沢村	根野深田	盛岡市
工藤利悦也	盛岡市	根野直洋	盛岡市
工藤谷城学	盛岡市	根野直洋	盛岡市
香河野行夫	盛岡市	根野直洋	盛岡市
小松寿夫	北上市	根野直洋	盛岡市
近藤英一	紫波町	根野直洋	盛岡市
斎藤岳一	盛岡市	根野直洋	盛岡市
斎藤秀一	盛岡市	根野直洋	盛岡市
佐々木明安	盛岡市	根野直洋	盛岡市
佐々木幸司	盛岡市	根野直洋	盛岡市
佐々木健	岩手町	根野直洋	盛岡市
佐々木治男	矢中町	根野直洋	盛岡市
佐々木光夫	大槌町	根野直洋	盛岡市
佐々木吉則	盛岡市	根野直洋	盛岡市
佐々木照	仙台市	根野直洋	盛岡市
佐々木雅子	盛岡市	根野直洋	盛岡市
佐々木学	宮守村	根野直洋	盛岡市
佐々木護人	盛岡市	根野直洋	盛岡市
島貫和弘	盛岡市	根野直洋	盛岡市
	新潟県中頸城郡中郷村	根野直洋	盛岡市
白石隆	盛岡市	根野直洋	盛岡市
菅原健蔵	盛岡市	根野直洋	盛岡市
菅原忠雄	花巻市	根野直洋	盛岡市
杉村榮一	盛岡市	根野直洋	盛岡市
杉村秀	花巻市	根野直洋	盛岡市
鈴木卓	石巻市	根野直洋	盛岡市
鈴木裕之	盛岡市	根野直洋	盛岡市
瀧川昌男	盛岡市	根野直洋	盛岡市
関口厚光	盛岡市	根野直洋	盛岡市
平翔夫	盛岡市	根野直洋	盛岡市
高島浩一郎	盛岡市	根野直洋	盛岡市

## 例会案内

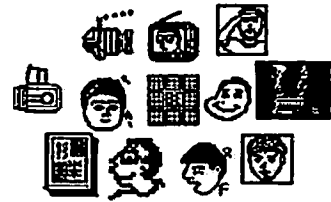
1月23日(土)  
 14:00 開場  
 15:00 例会  
 17:30 解散

場所: 盛岡市中央公民館

## 分科会案内

### ビギナー分科会

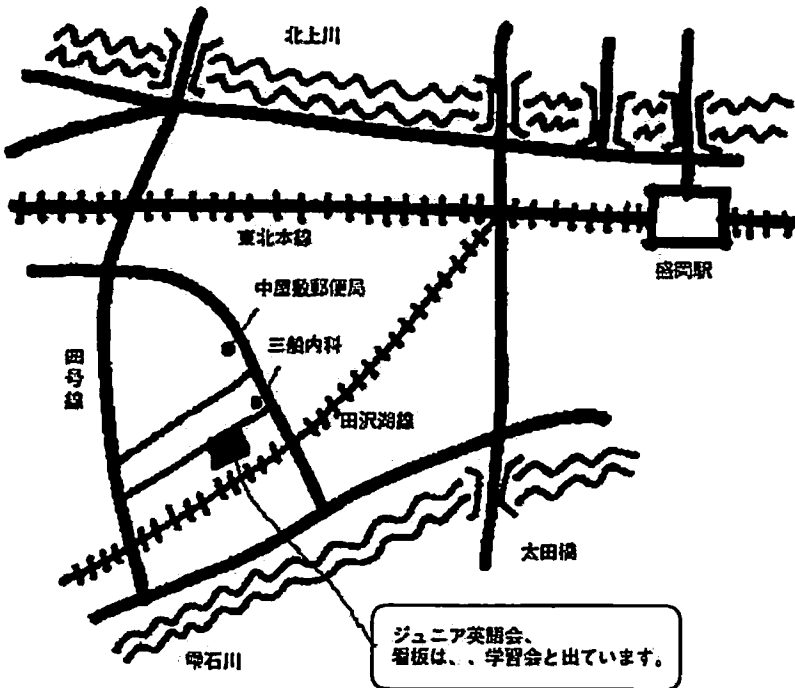
毎月第一土曜日  
 ただし、1月は9日です。  
 時間: 2:00~5:00  
 場所: ジュニア英語会  
 盛岡市天昌寺町9-20  
 連絡先: 0196-47-7185



例会の後で、場所を変えて編集会議を行います。

お時間のある方  
 ご一緒しませんか?

## ビギナー分科会会場地図



「林檎」24号は...

ASLTalk	ByWord
Color Magician	EG-Bridge
EG-Word	Freehand
HyperTerm	Illustrator
MacPaint	MacVJE
MacWrite	NinjaTerm
NISUS	PageMaker
PhotoShop	SoloWiter
StreamLine	SuperPaint

等で作ったものをPageMakerでまとめLaserWriter, Microlineでプリントしました。

1992/12/19 第24号

発行 岩手Mac友の会

代表 野村行憲

020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品